



うてなの
かたわらに




※ご注意

この本は新アニどろろの最終回後、多宝丸生存ifの内容です。
百鬼丸と多宝丸がなんやかんやあって醍醐の土地を離れて共に旅をしています。
正確な時代考証は行っていないファンタジー室町時代です、
おかしいやろ！と思っても何卒目を瞑ってくださいませ。。。


それを見つけたのは、山道より離れた草むらの中だった






妖にでも
やられたのでしよう
この時期は特に被害が
増えます

珍しいお守りを
持っていましたね
どこへ行くつもり
だったんでしょうか



帰りを待つ人が
いるんだろうな



兄上、
日も暮れるので
先へ急ぎましょう

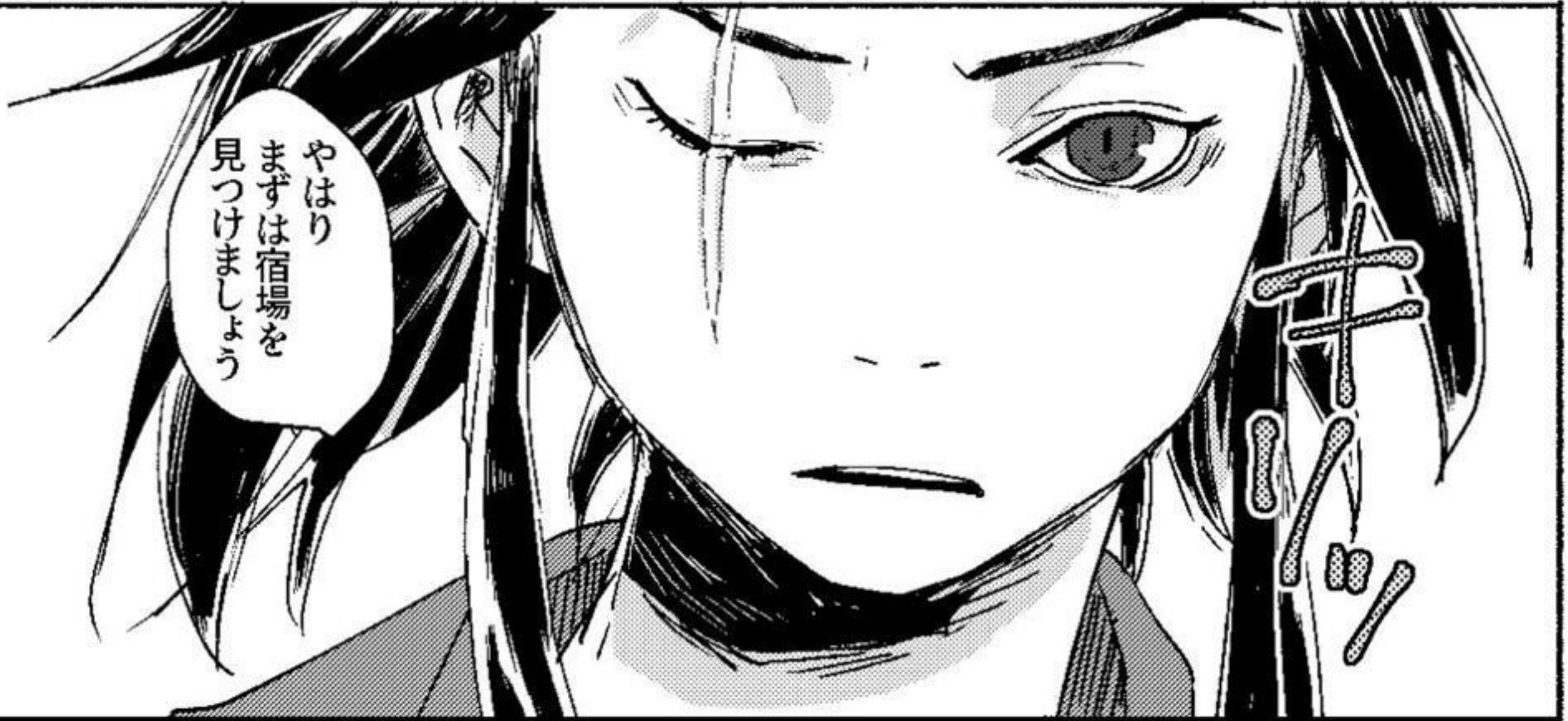




かなり
冷えてますよ



ザッ
ザッ



やはり
まずは宿場を
見つけましょ



町中を
見て回るより
まずは休息が
必要です

急ぐ旅でも
ありませんし
じきに日も暮れます

急いで仕事を
仕損じるとも
言います

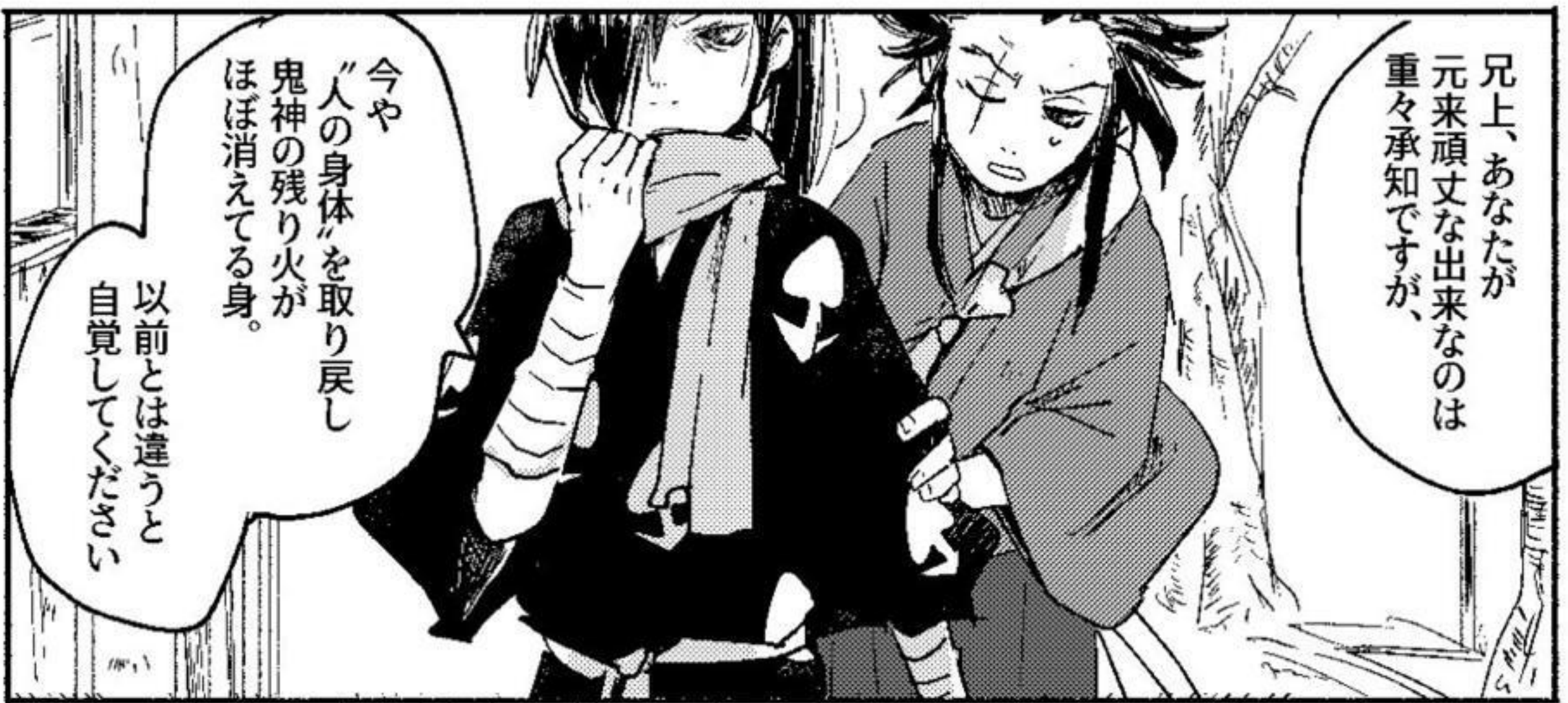
…お前すつかり
小煩くなったなあ

くっくっく

くっくっく

寒いよ
お前も

また
お前も



…ところで

近くに宿場があれば教えてほしいんだが

揉め事があるならよそでやってくれないかい？

うっすまない…ただの口喧嘩だ

雪…

私は兄上と旅をしている

はあ…

しかし今日は冷える雪が振りそうですね

ほー

どろろが言っていた雪が降ると真っ白になると

彼の人生を一度までならず二度までも喰らい生きて聞く運命を恨めしく思う

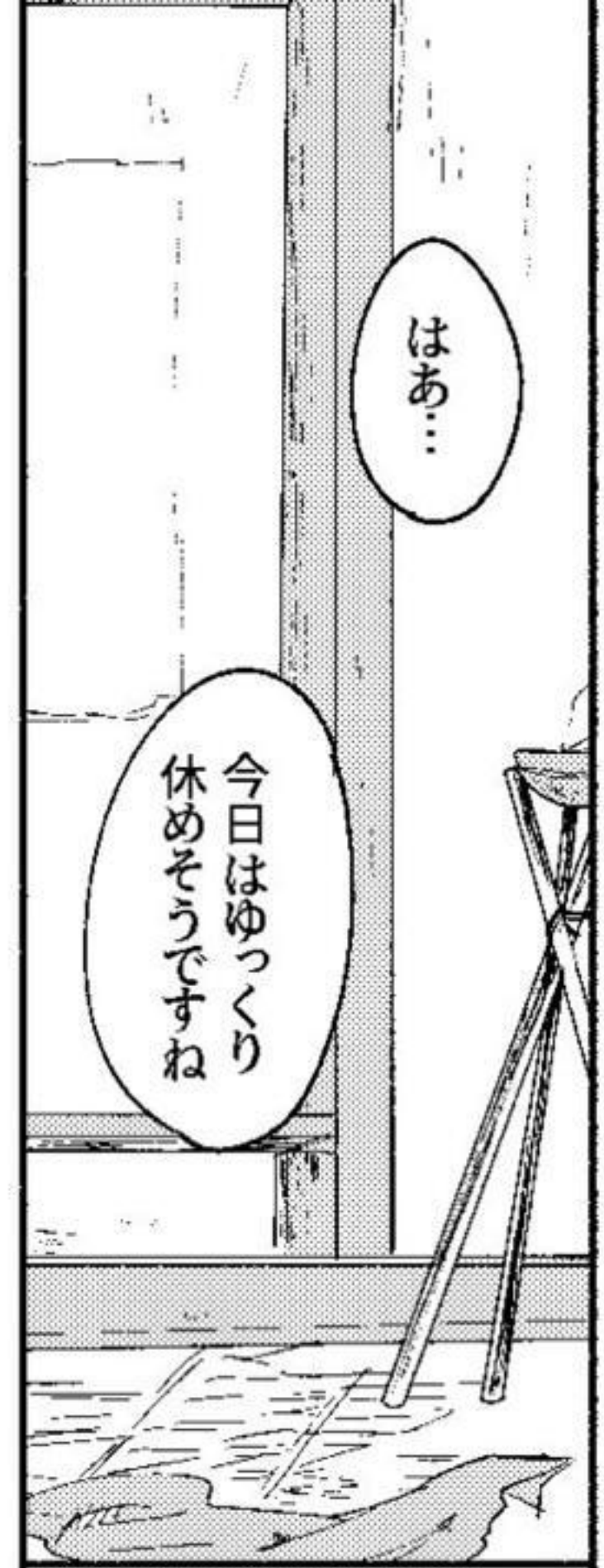
彼は私がいなくてもこれから生き抜いていくだろう

しかし私は、彼がいなければ生きていけないのだ



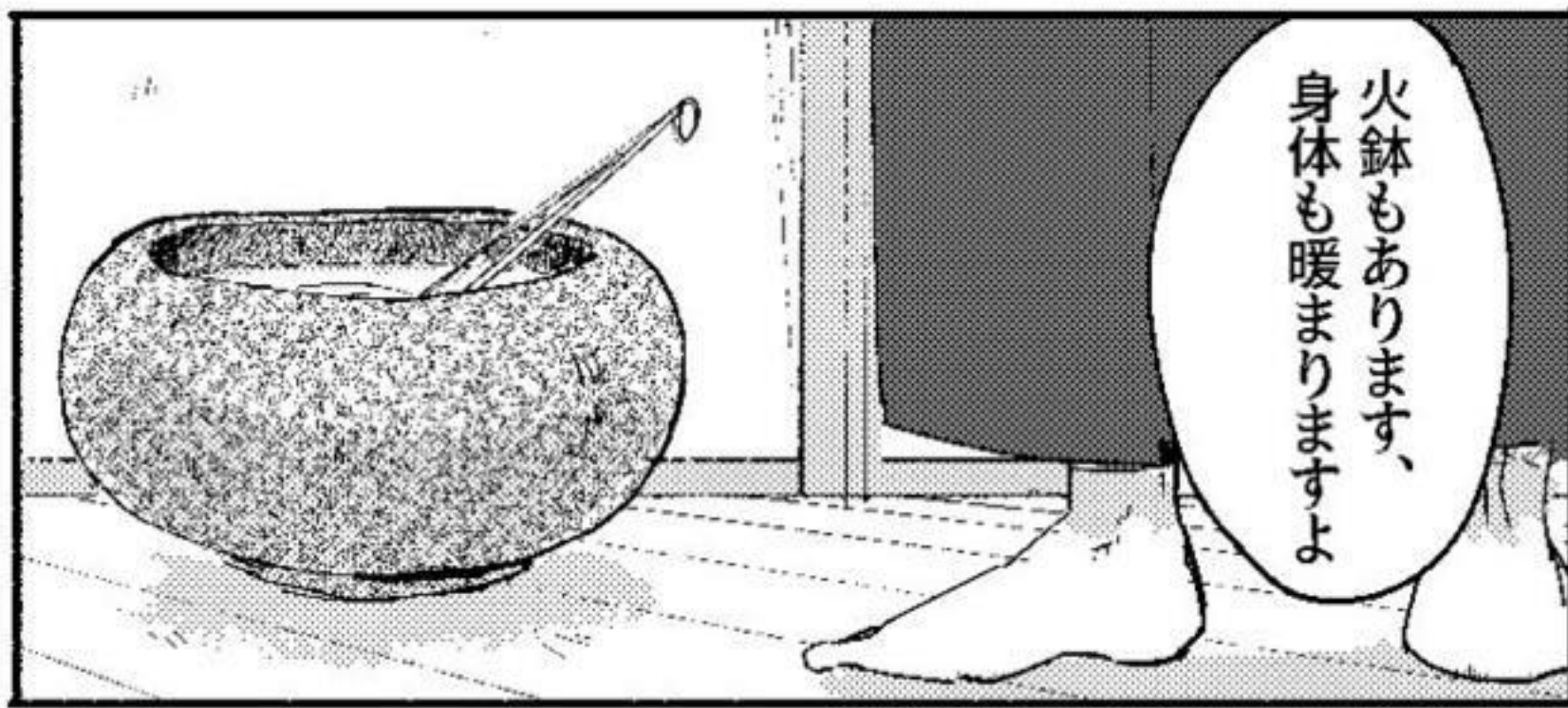
多宝丸…
何故一度寝転がると
起きれなくなるんだ

だから、
疲れてるって
言ったじゃないですか



はあ…

今日はゆっくり
休めそうですね



火鉢もあります、
身体も暖まりますよ



火鉢、あれはいいな
一緒に魚も焼きたい

私より体力のあるはずの
兄上が、ここまで
疲れているのか



…手足が冷える
疲れやすくなる
加えて顔の血色が悪い

兄上は血が、
足りていないんです



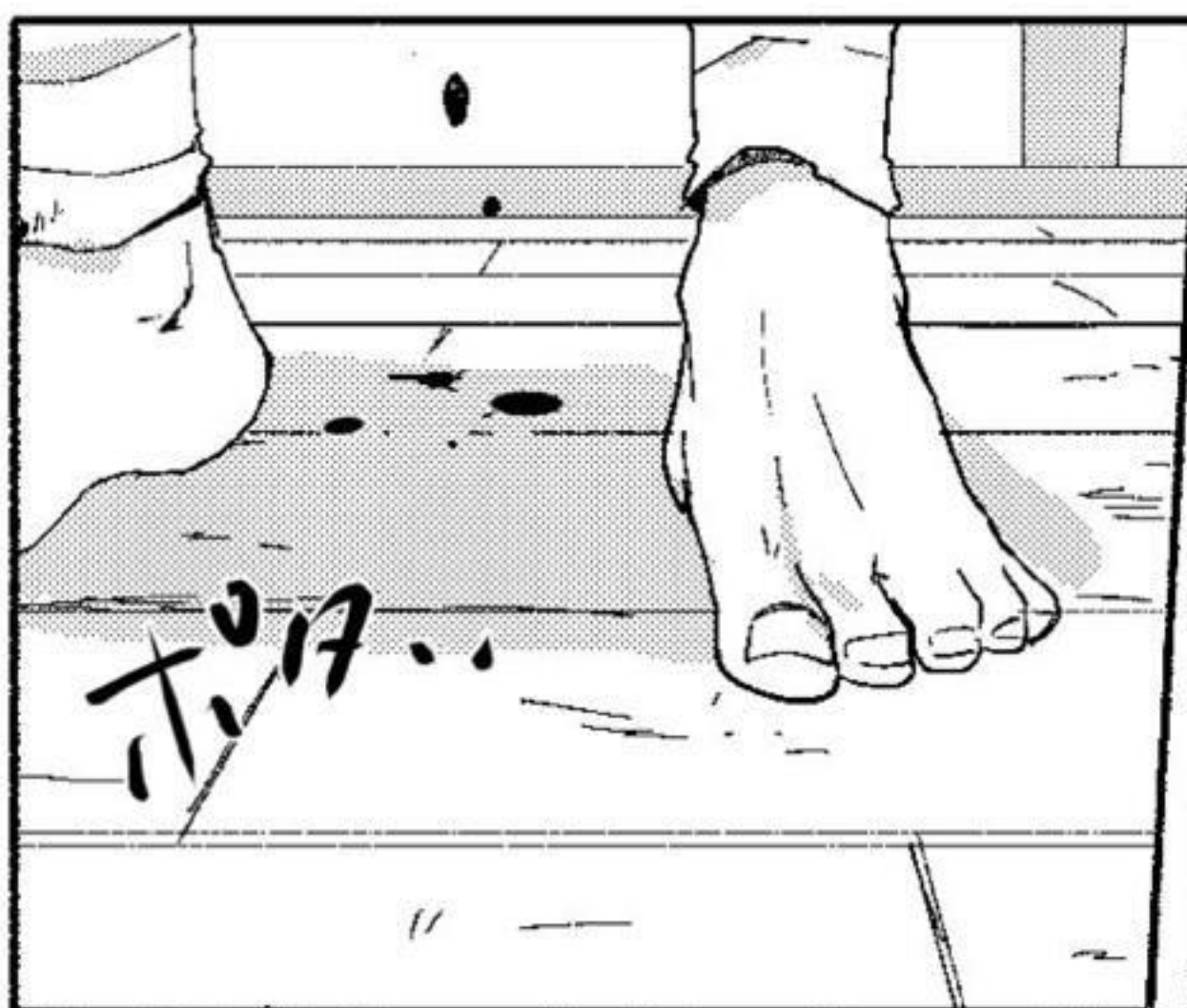
私のせいです



お前の方だろ
多宝丸



血が必要なものは





飲め

しまった

身体に混ざった鬼神の血は
今でも兄上の身体を欲している



兄上の眼を取り入れた代償なのか

今日もそうだろう



それは、彼の血液を
定期的に飲まないと、
自我を失ってしまうという

全くもって
馬鹿馬鹿しい代償だった



だっ大丈夫です

昨日は宿が見つかればって
言ってた

ですが、兄上の
体調が優れてないのに

お前のそれは
我慢すると良くない
多宝丸



んっ

舌が…



はっ
んっ



すみません…

これは言ひこも
間かた…

よな



ええ

蜂蜜のようです
血の匂いも他の人間と
全く違うように
感じますよ

んっ

んっ



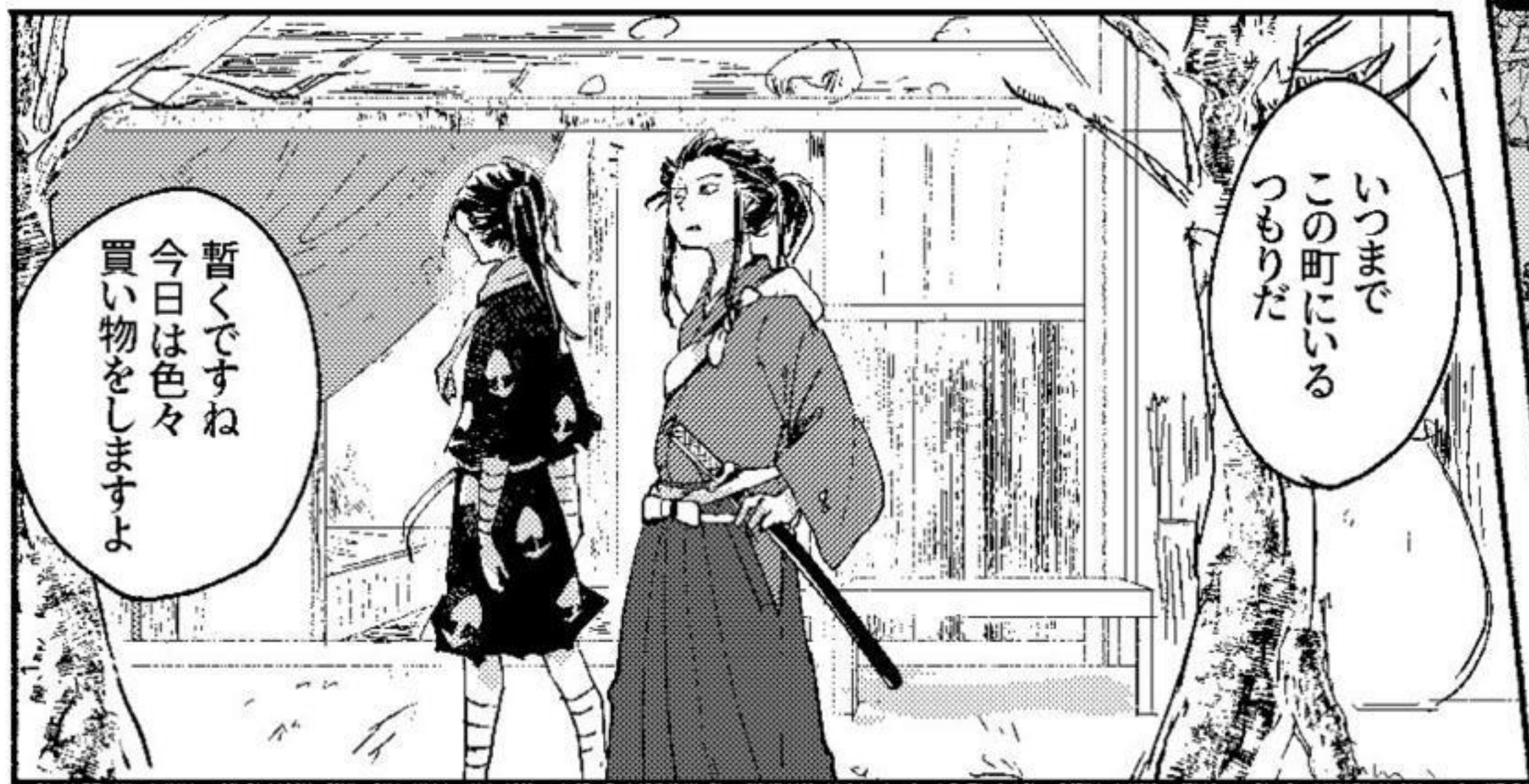
…やっぱり甘く
感じるのか？

傷口を舐めるのは
ぞくりとするな

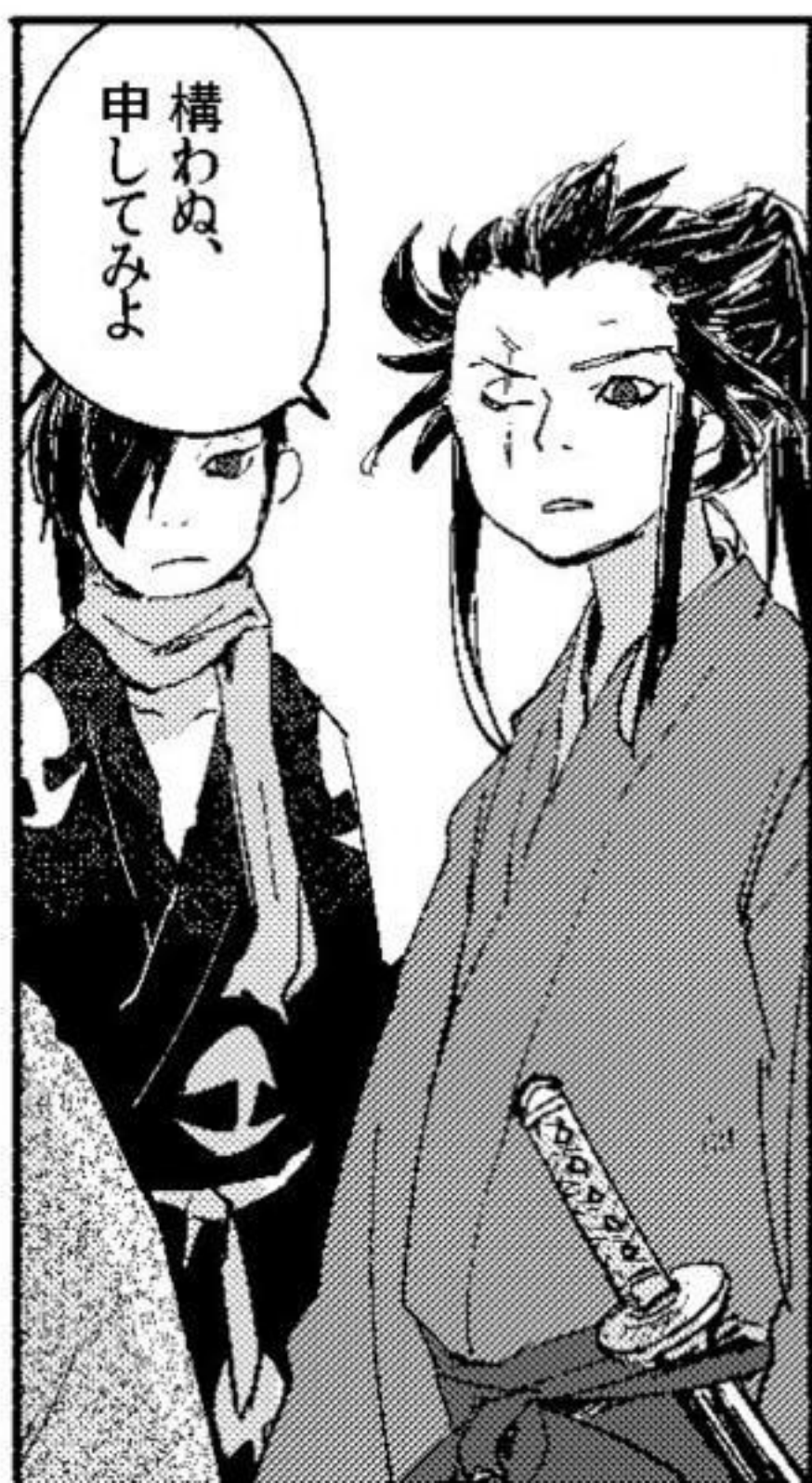
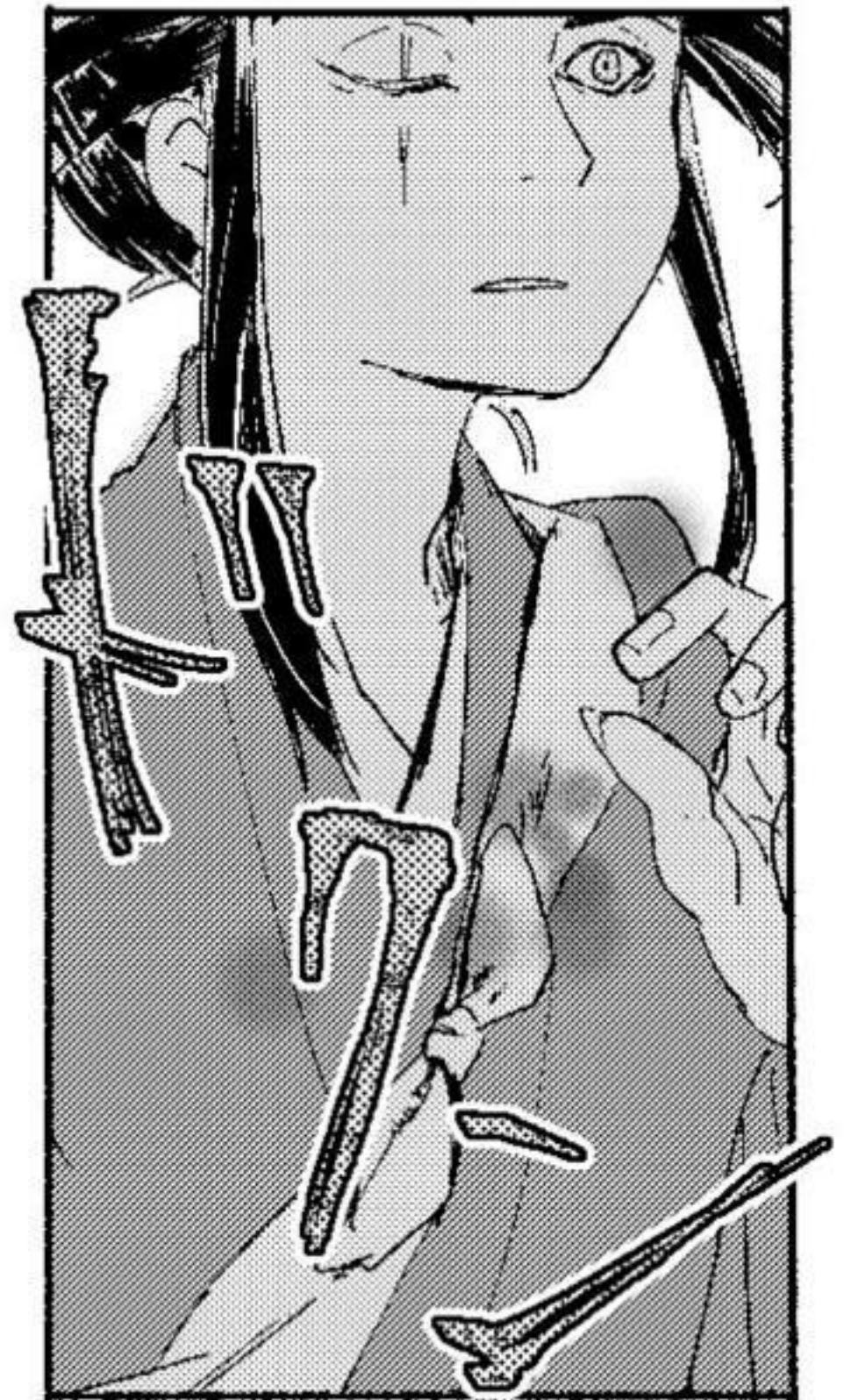
んっ

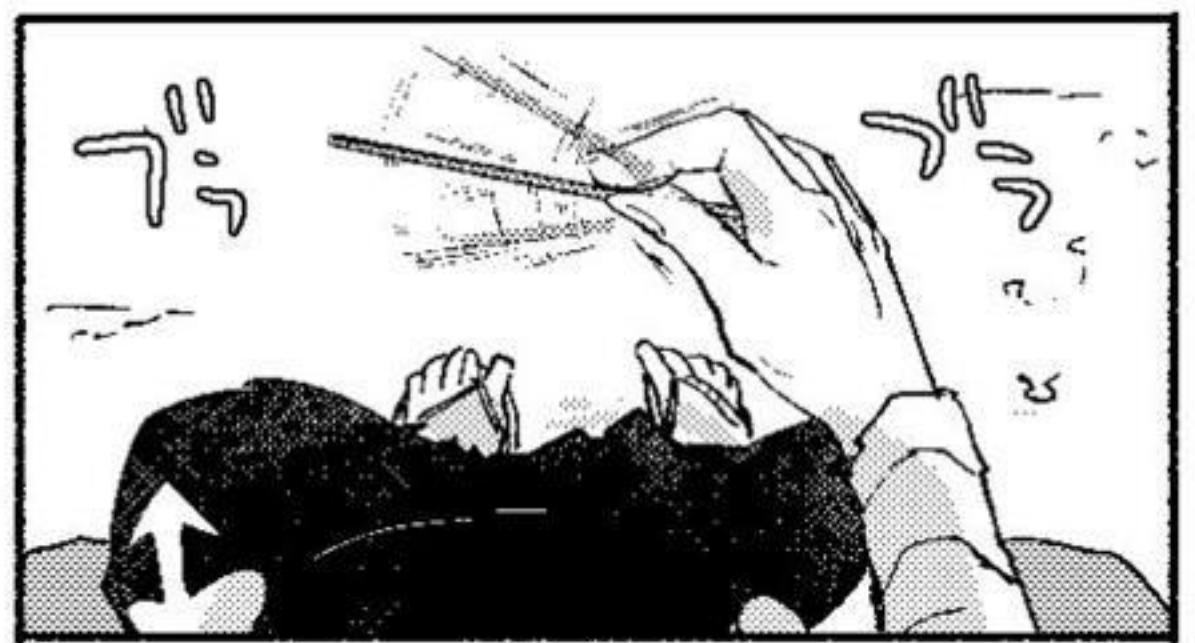
んっ













ああ、あの女性の
息子だったんですよ



…なんの
話をしていたんだ

ひょーっ



私たちが以前、
山の中で見つけた骸

あの特徴的な
お守りは近くの
寺のものだと



出稼ぎの途中、
出会った行商の女に惚れ
共に行商をしながら
暮らしていると

故郷にいる
母と兄弟に
もう戻らぬが、
幸せに暮らしていると

二度と会えぬのは
変わりない



出稼ぎに行ったきり、
戻らぬというので
旅の者が来る度に
聞いておるらしいです

だから

別の村で
暮らしていると
伝えました



しかし
真実を伝えるのが
正しいとは限りません

そう言うこと
思いました



…俺は
そういうのは
好きじゃない



なっ
なぜ笑う！



ははは
兄上には敵いませんよ



多宝丸

お前は強い人間だ
嘘をついて
逃げるなよ





しまった
「渴き」だ

ぐんぐん

もう少し持つと
思っていたが…

多宝丸!

びゅん



兄上の負担に
ならぬように
飲んだが見誤った…

待って、下さい、
人前で…
血を飲む姿など…

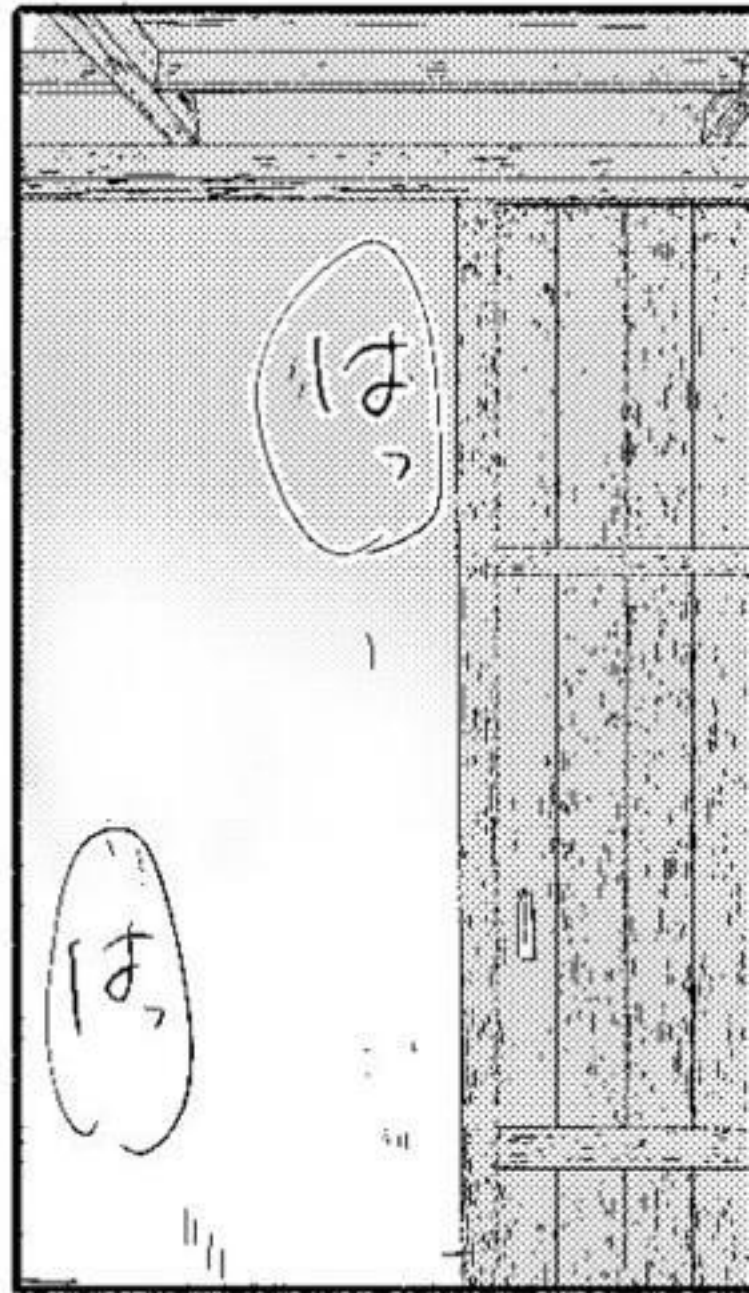
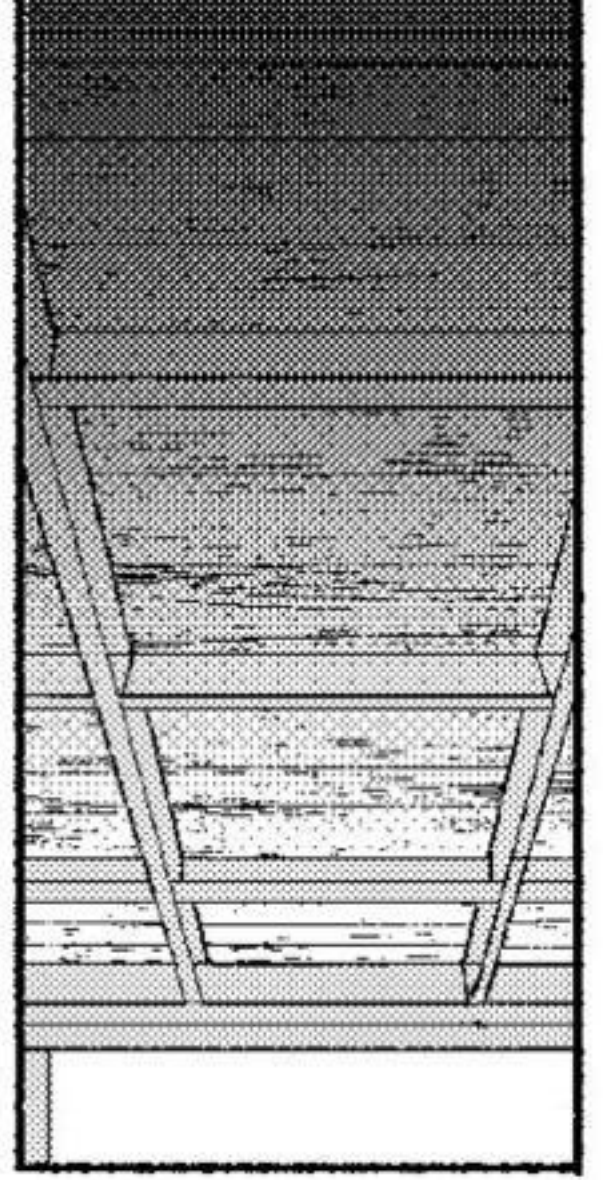
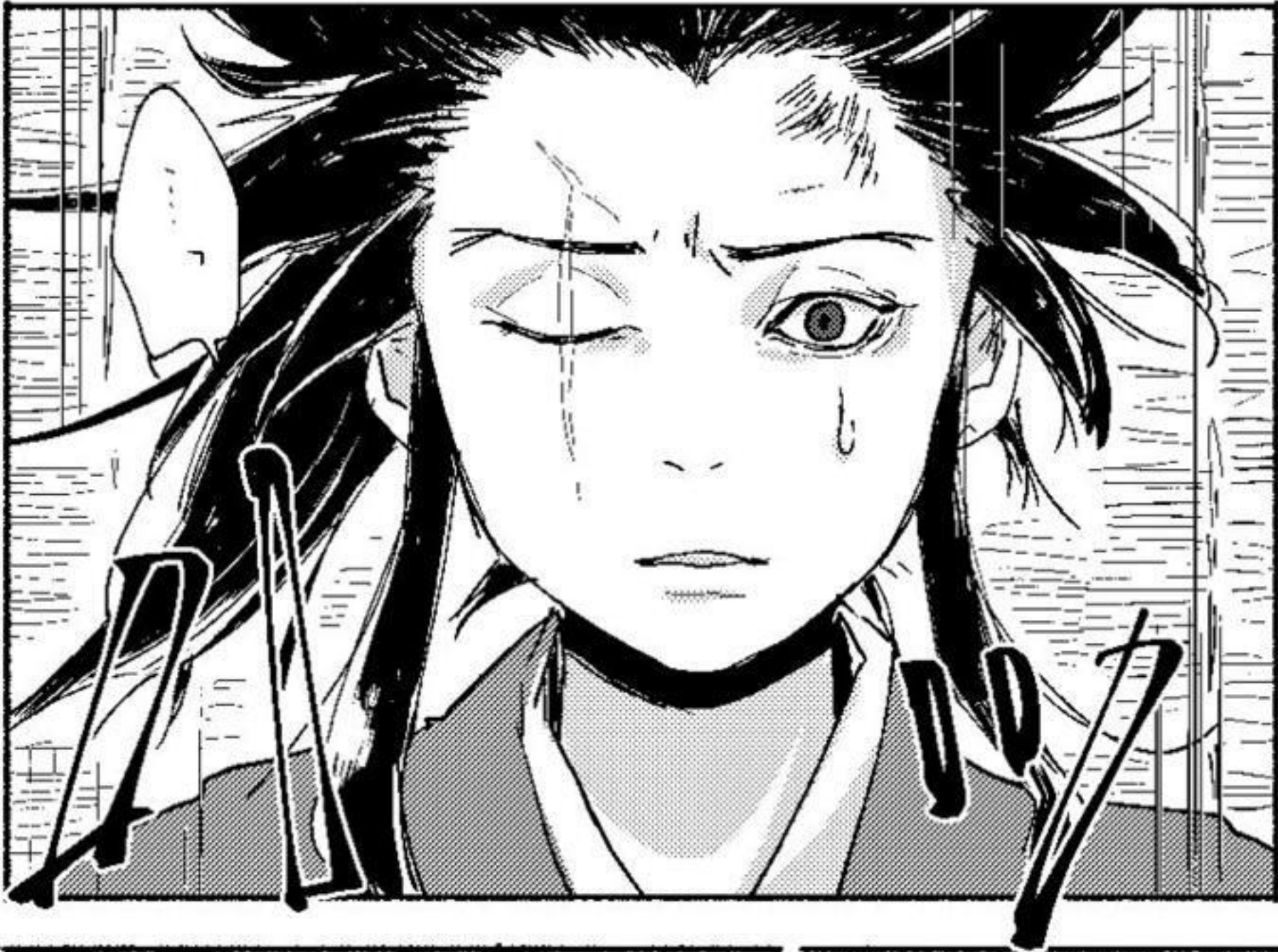
大丈夫か、
今、血を…

は、
は、

しかし!

はっ







やはり
足りなかったんだろう

なんのつもりで
隠していたんだ



そうした嘘を
つかれて

俺が喜ぶとでも
思っているのか

兄上っ

兄上ッ!



今日のように、
真実を隠すのが
お前は最善と
考えているのか

違います!



何を...!?

昨日、俺の血を

少なく飲んだのは
俺が心配だからか?



渴きは私が
死ぬまで
付き纏う

兄上の身体を蝕む
生き方しかできないのが
情けないんです!!



兄上は
自分の体力を
過信しています

このままだと
いつか確実に倒れます

むやみに兄上の
負担になりたくないと
思っているんです!



今更何を
言ってるんだ



いつ

私は兄上をこれ以上
搾取したくないんです!!



お前が
こうなつたと
知つた時から
俺は腹を
括っている

お前も腹を括れ
喰らい続けろ



お前が悪いわけではない

ほら、兄上は
根拠がない

これは
俺が全て取り戻した
代償でもあるんだ

そのくせ
私の葛藤を
強引に包み込む

強くて優しい



それが眩しくて
欲しくなる



そうだ



先程の渴きの時に
咄嗟に求めたもの



血ではない、
兄上の唾液だ

血ほどではないが
唾液でも
渴きが満たされる

もっと欲しい
血でも唾液でも



兄上のものなら
なんでも満たされる...

たったほっ

ふっ



兄上のものなら

なんでも…

おい、
黙ってないで何か…



もしや渴きは
血液でなくても
良いのでは

それが正しければ
兄上はわざわざ血を
流さなくても
よくなるのでは？

待て

おい、
たほっ！

聞いているのか！

貧血の心配は
一切なくなる



汗も甘く
感じるんだな

うわっ

より血液に近い
兄上の体液…



本当か?

それは
勿論だが...

では少し大人しく



うわっ

して下さるね



兄上、ひとつ
案があるんですが

兄上が血を流さなくても
渴きを解消できるかも
しれません

協力してくれますか?



待て!

っ兄上

たほっ



びい



大人しく、と
言いましたよ

これが
もうひとつの
方法なんです



うあっあっ

はっ



汚くないです

あっ



ひゃっ

汚い、
そんなところ



ちゅらっ

おまえ、
舐めっ...

はっ

兄上から
溢れてくる蜜が

たったほ

やはり甘く感じる
当たりだ

あ

だめだ、
たほっ

おい!

多宝丸!

すっ吸われるとっ

腰がっ
ぞわってするからっ

あしゅっ

ちゅっ





だからって
舐めとってっ…

そういう案
ですから…

兄上はこういう事は
まあ…初めてでしようが

だから
兄上の血の
代わりに
精液ならと

おっおおお
お前なにしてるんだっ



おい
何を



ぞ…ぞ…ぞ…

でも大正解です
この方法でも満たされる事が
分かりました！

兄上は不快感など
ありませんでしたか？

いや…

…きもちよかった



気持ちよかったので
あればもう少し



何をして…っ

いえ

ひゃ…

たほっ

ちゅっ

あゝ♡









おい…

それって
返したり
出来るもの
じゃないだろ…

ぞくぞく



どうでしょう、
私は兄上の精液から
あなたの生命力を
頂いているので

私の精液から
兄上にお返し出来るかも
しれません

ひま



貰いすぎでは
本末転倒に
なりますから

だから

お腹の中で
受け止めて下さいね

すずん

この度は

自制を失い
兄上を思いきり
抱き潰してしまい

JAPANESE
DOGEZA!!!

大変申し訳
ございませんでした

元々体力が落ちていた時に
あのように
無茶をさせた事は
恥ずべき行動と…

お詫言のまんじゅう





無理な話で…



これ、ためだ

うっ

兄上の中が
うねって…

指と全くちがう

んっ



はちゅっ

ズツ

あつ奥がっ

あ—っ

多宝丸ツ
もうむりっ
奥…変だからっ

はあっ
痛くないですか？

いっ痛くない
けど、おくっ
奥に当た…っ

はあ

あつ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ



きもちさう...
さう...?

ほほっ
それ、気持ちいいって
事ですよ



えあつ

ねえ
聞いてくださいよ

ほっ
さう

あつ!!

奥がイイんですね

ほっ



たほりまるう...っ

ほっ
きもちいい
きもちさう...



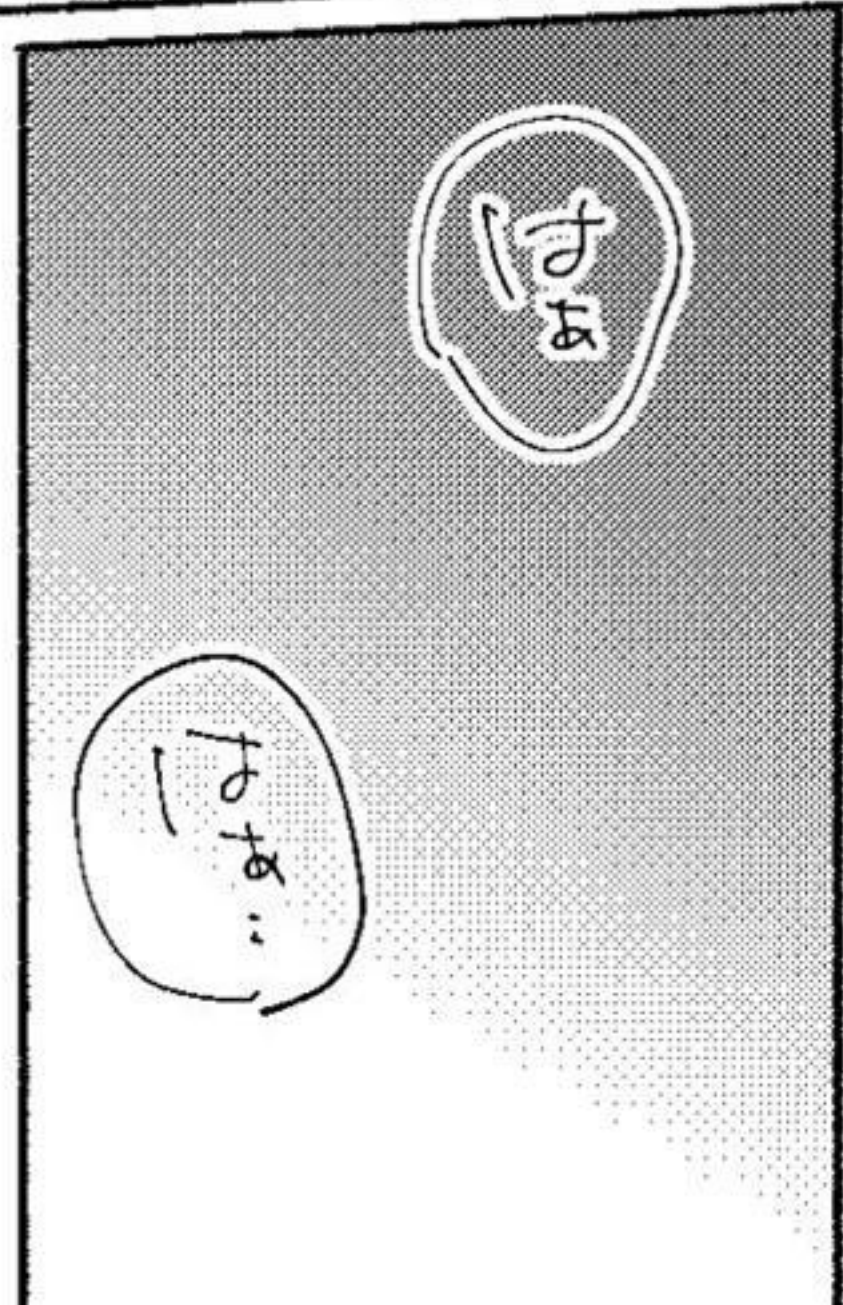
兄上
乱れすぎでしょう

すう...

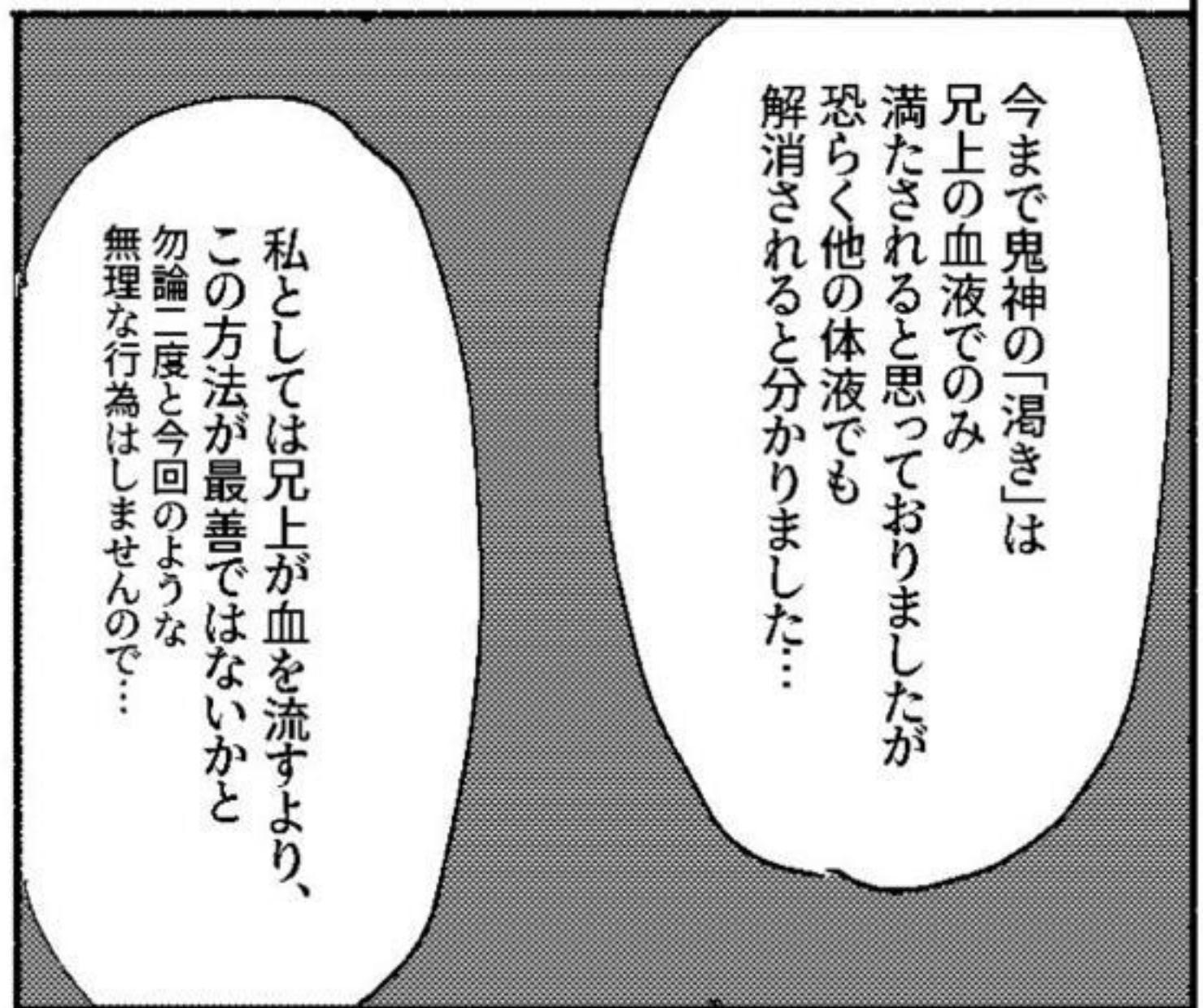
ん

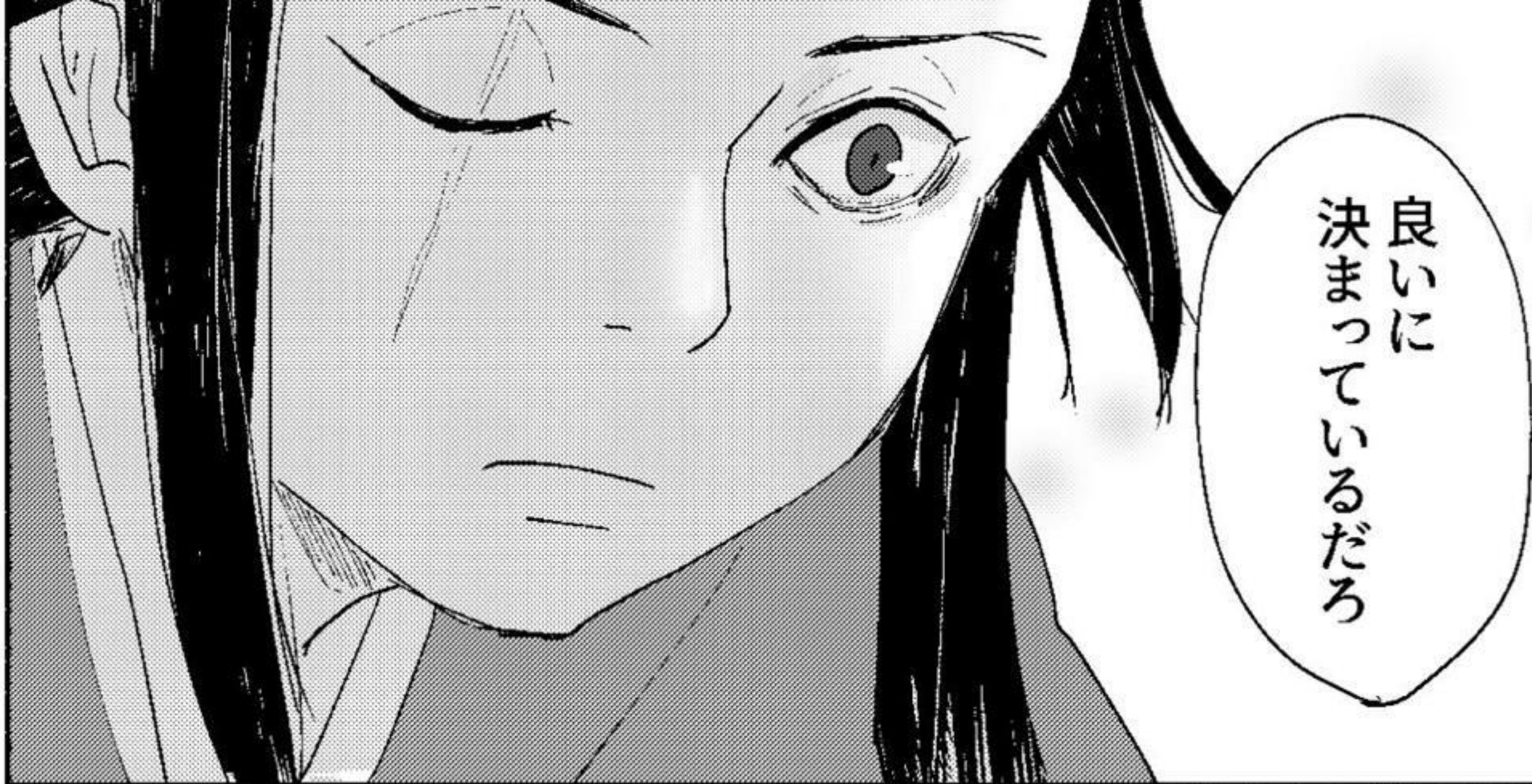
ほっ











良いに
決まっているだろ



There will be interference...

それに



お前の渴きを
抑えるための
ものだろうか？

いいや
あの行為の意味
分かっています？

即座に
干渉せよ



夕宝丸の理性を
保つ音
↓

んんん
んんん
んんん

気持ちよかった

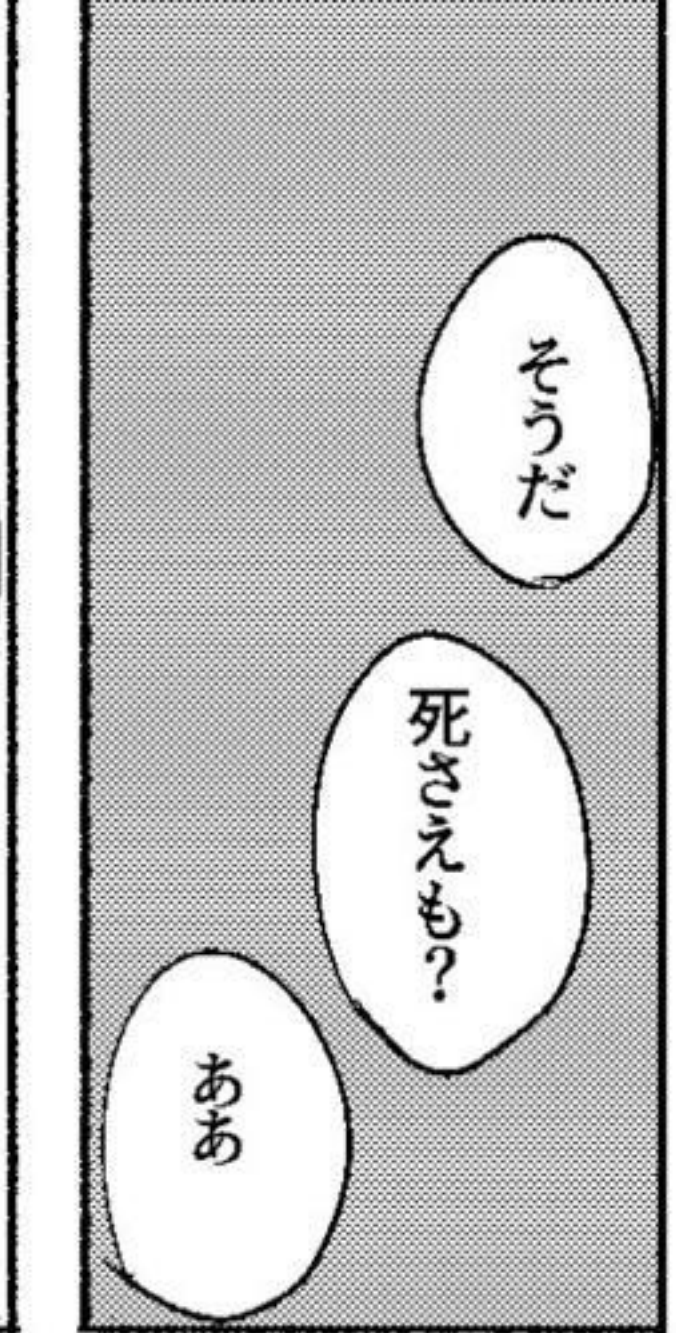
またやりたい...

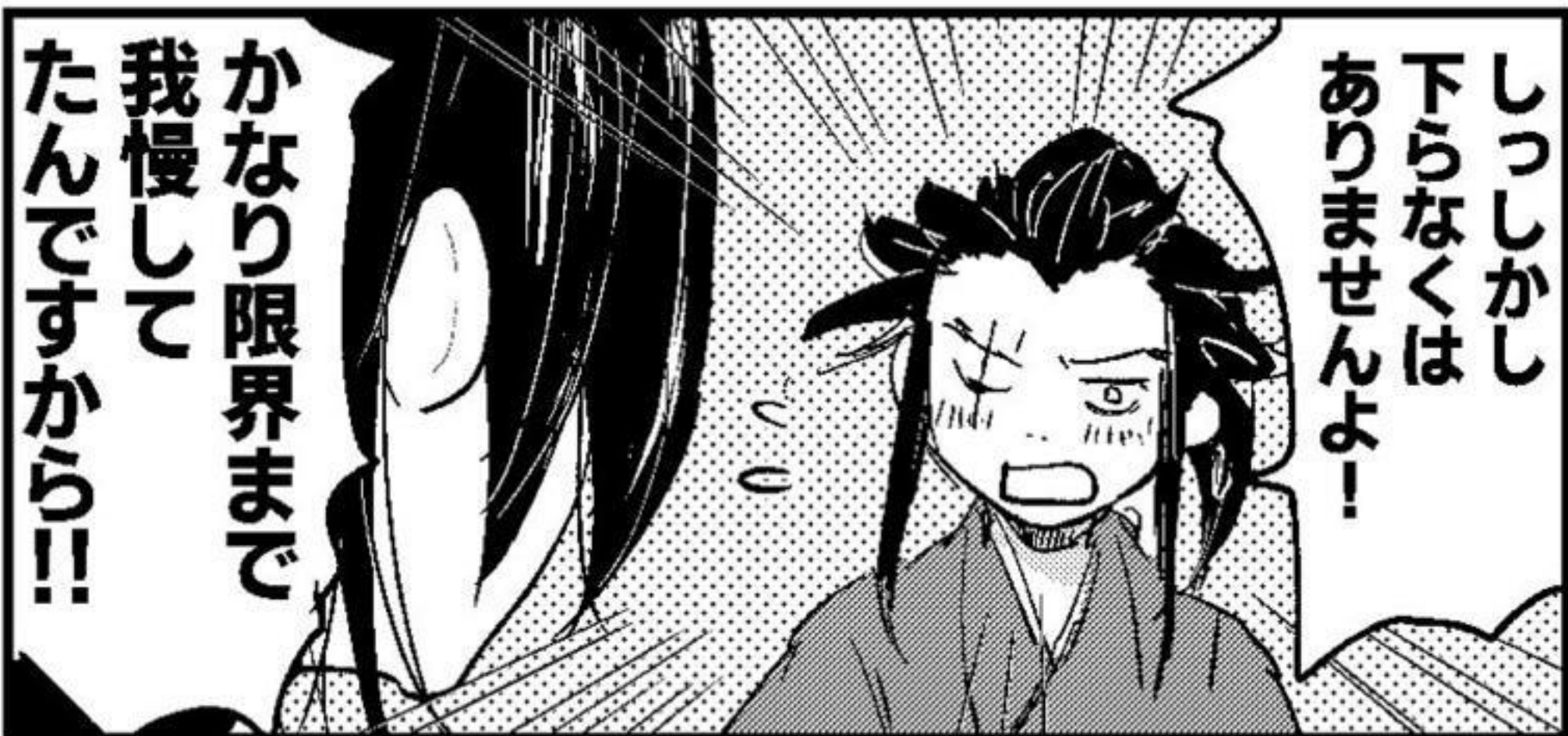
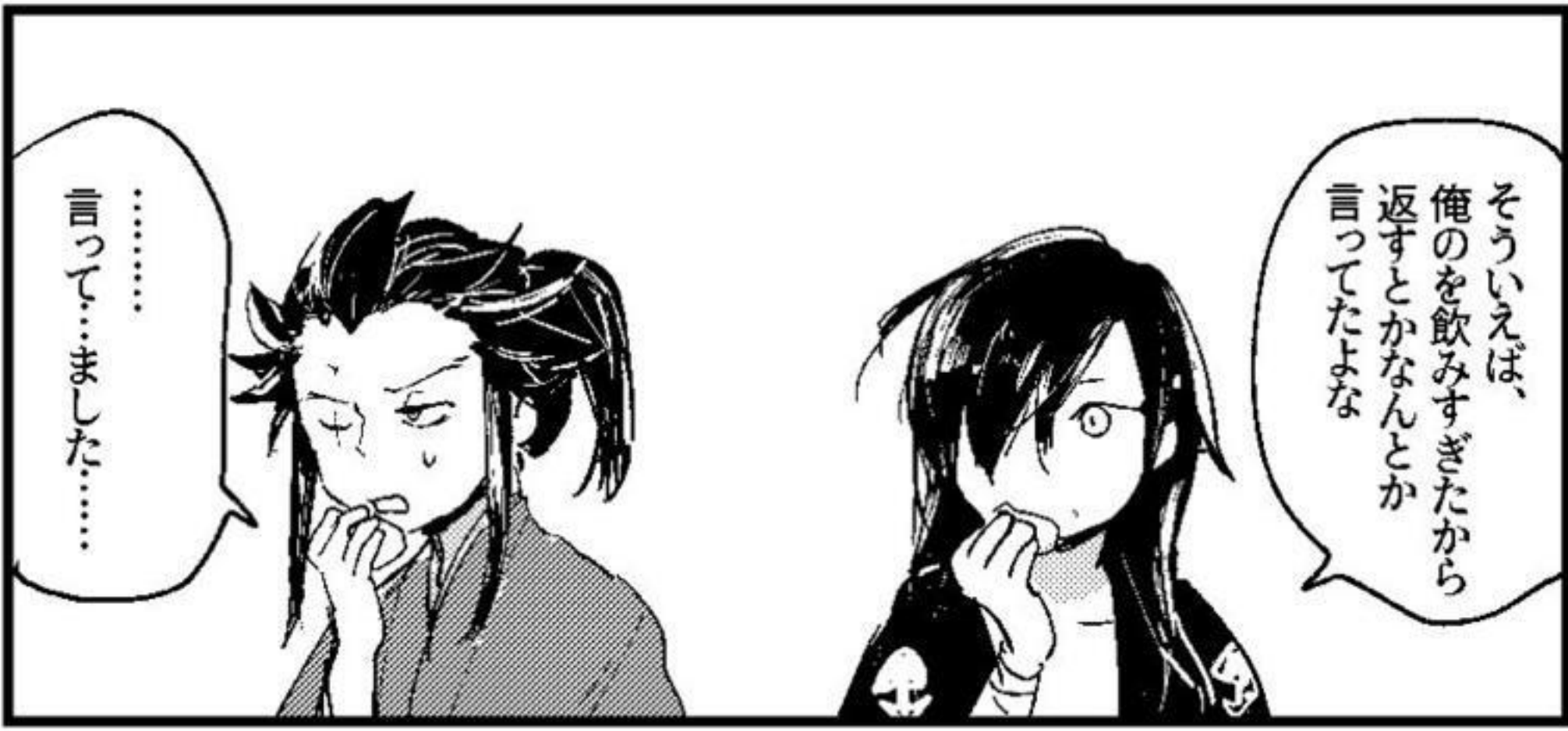


あっあの









一回も出してなかったんですよ!

おまけ漫画 2



今更恥ずかしくなってきた

こんにちは。かゆです。
無事に多百本2冊目が出ました！
色々な理由で兄に対し引け目を感じる多宝丸に
百鬼丸が逆プロポーズする本となりました。めでたい！
新アニメ最終回後、多宝丸は生きていて百鬼丸と旅をしていたらいいなあ～
という気持ちからトンデモ強引な理由をくっつけてお話にしてみました。
二人がこれからも助け合い喧嘩したり持ちつ持たれつ喰い喰われつつ
共に生きていってくれたら、何より私がうれしいです。
ちなみに百鬼丸が嘘について過敏に怒るのは、
自らの出生や体を奪われ、それが隠されていた事にも起因します。
あとはめいっぱい泣き喘いでるあにきが描けて楽しかったです。
拙い箇所がたくさんありますが、ここまで読んでくださって有難うございます。

かゆ

うてなのかたわらに
2020.3.15
nnn.[ヌヌヌ]/かゆ
twitter:@namaniesan pixiv ID:38983132
mail:longlonglongringon999@gmail.com
印刷所：株式会社 栄光

※無断転載・複製、ネットオークション・
フリマサイト等への出品はお止め下さい。
Disclaimer: No reproduction or republication
without written permission.



ご感想あればどうぞ
一言でもあればとても嬉しいです。
※マシュマロです
※twitterアカウントなしでも送信可。返信も見られます。



うてなのかたわらに
どろろ 多宝丸×百鬼丸 R-18
アンオフィシャル ファンブック vol.2
nnn./かゆ

